

3. 大学院留学生科目

・国際大学院日本語科目

専門分野での研究を進めるに当たって、必要な日本語運用能力を高めることを目的とする。学習レベルと履修方法については教授要目をよく読み、必要に応じて留学生センターのWEBサイトを参照すること。大岡山，すずかけ台両キャンパス（Sz）で同じ科目を開講する。

申告 番号	授業科目	単位	担当教員	学期	備考
99625	Japanese 1 Spring	0-2-0	*山口 真紀 *山中 都	前学期	*＝非常勤講師
99626	Japanese 1 Autumn	0-2-0	*山口 真紀 *山中 都	後学期	*＝非常勤講師
99627	Japanese 1 Spring Sz	0-2-0	*末田 美香子 *山口 真紀	前学期	*＝新規 *＝非常勤講師
99628	Japanese 1 Autumn Sz	0-2-0	*末田 美香子 *山口 真紀	後学期	*＝新規 *＝非常勤講師
99629	Japanese 2 Spring	0-2-0	*吉沢 由香里 *土井 みつる	前学期	*＝非常勤講師
99630	Japanese 2 Autumn	0-2-0	*吉沢 由香里 *土井 みつる	後学期	*＝非常勤講師
99631	Japanese 2 Spring Sz	0-2-0	*末田 美香子 *土井 みつる	前学期	*＝新規 *＝非常勤講師
99632	Japanese 2 Autumn Sz	0-2-0	*末田 美香子 *土井 みつる	後学期	*＝新規 *＝非常勤講師
99633	Japanese 3 WR Spring	0-2-0	平川 八尋	前学期	
99634	Japanese 3 WR Autumn	0-2-0	平川 八尋	後学期	
99635	Japanese 3 WR Spring Sz	0-2-0	*斉藤 ちぐさ	前学期	*＝非常勤講師
99636	Japanese 3 WR Autumn Sz	0-2-0	*斉藤 ちぐさ	後学期	*＝非常勤講師
99637	Japanese 3 LS Spring	0-2-0	*山下 治之	前学期	*＝非常勤講師
99638	Japanese 3 LS Autumn	0-2-0	*山下 治之	後学期	*＝非常勤講師
99639	Japanese 3 LS Spring Sz	0-2-0	*土井 みつる	前学期	*＝非常勤講師
99640	Japanese 3 LS Autumn Sz	0-2-0	*土井 みつる	後学期	*＝非常勤講師
99643	Japanese 4 WR Spring	0-2-0	*山中 都	前学期	*＝非常勤講師
99644	Japanese 4 WR Autumn	0-2-0	*山中 都	後学期	*＝非常勤講師
99645	Japanese 4 WR Spring Sz	0-2-0	*森泉 朋子	前学期	*＝非常勤講師
99646	Japanese 4 WR Autumn Sz	0-2-0	*森泉 朋子	後学期	*＝非常勤講師
99647	Japanese 4 LS Spring	0-2-0	*山下 治之	前学期	*＝非常勤講師
99648	Japanese 4 LS Autumn	0-2-0	*山下 治之	後学期	*＝非常勤講師
99649	Japanese 4 LS Spring Sz	0-2-0	*山口 真紀	後学期	*＝非常勤講師
99650	Japanese 4 Autumn Sz	0-2-0	*山口 真紀	後学期	*＝非常勤講師

〔教 授 要 目〕

＜日本語科目＞

1. 本科目は他専攻科目として単位が計算されるが、各専攻の方針によっては修了に必要な単位に加算されないこともあるので、必ず指導教員に相談の上で履修すること。
2. 初級2つのレベルと中級2つのレベルを前学期、後学期ともに開講し、同じ内容のクラスを大岡山とすずかけ台に設置する。

・初級レベルについて

3. Japanese 1（時間割表ではJp1と呼ぶ）は初心者を対象とし週2回、2コマで2単位とする。週1回だけの履修は認めない。修了後、次の学期にJapanese 2（Jp2）を履修できる（留学生センターのプレースメントテストで同等レベルと判定された場合も履修可能）。同時に複数の初級科目は受講できない。

・中級レベルについて

4. Japanese 3（Jp3）は週1回、1コマで2単位とする。Japanese 2の修了者が履修できる（留学生センターのプレースメントテストで同等レベルと判定された場合も履修可能）。中級は各レベルにLS（聴解と話し方）とWR（読解と書き方）の2科目がある。中級では同時に複数科目を履修することも可能。修了後、次の学期にJapanese 4（Jp4）を履修できる（留学生センターのプレースメントテストで同等のレベルと認められた場合も履修可能）。Jp4も週1回、1コマで2単位とする。

・中上級レベル以上について

5. 学生の日本語レベルは、前学期の試験結果あるいは留学生センターのプレースメントテストによって判定する。とくに新生（日本語既習者）は必ずプレースメントテストを受けること。ただし日本語能力試験2級合格者は必要なし（自動的に留学生センターのJ6レベル判定）。
6. 大学院日本語科目を履修するには、留学生センターHPのオンライン登録システムと、教務課WEBシステム両方に登録しなければならない。

・参考

7. 旧Japanese Beginner 2、Japanese Beginner 4は開講しない。同レベルのクラスとして留学生センターのJb2, Jb4が開講される（大岡山・すずかけ台両方。単位はなし）。
8. 旧Japanese Intermediate 3は開講しない。同レベルのクラスとして留学生センターのJ5WR, J5LSが開講される（大岡山・すずかけ台両方。単位はなし）。

※これまでの授業科目名との対応表が留学生センターのWEBサイト上にあるので、確認のこと。

99653

日本語と社会第一 (Language and Society in Japan)

前学期 2-0-0 武井 直紀

すでにある程度の日本語能力を有する留学生を対象に、日本、あるいは日本社会についての理解を深めることを目的とする。日本の歴史、言語、宗教などを中心として日本という社会について、特にこれまで外国人の目には「日本」というものがどのように見られていたかを振り返る。それらを基に、参加者がグループごとに討論し、自らの考え方をまとめていく。

99654

日本語と社会第二 (Japanese in Technology and Business II)

後学期 2-0-0 武井 直紀

すでにある程度の日本語能力を有する留学生を対象に、自分たちに関わる日本、あるいは日本社会をより深く理解することを目的とする。留学生が社会人として日本社会に加わった時、必要とされるのは日本語能力ばかりではなく、社会人としての基礎的な知識、行動のあり方などである。それらについて、グループディスカッション、あるいは面接等、就職活動に関わることも含め、できるだけ実際の体験に生きるようなかたちで、学んでいく。

99641

Study on Japanese Companies and Industries II

This course aims to deepen the students understanding of the actual system of Japanese companies and industries through a series of study tours and lectures given by the staff of companies and related organizations. The number of course participants will be limited due to the capacity of a bus and the accepting organizations.

99642

Study on Japanese Companies and Industries I

This course aims to deepen the students understanding of the actual system of Japanese companies and industries through a series of study tours and lectures given by company staffs and the graduates of Tokyo Tech who work for Japanese companies and related organizations. The number of course participants will be limited due to the capacity of a bus and the accepting organizations.

99659

Fieldwork Skills for Cultural Understanding

フィールドワークスキルと文化理解

前学期 0-1-0 Tom Hope Language: English

This course explores practical ways to discover and understand culture in Japan, based on the gathering and analysis of qualitative data.

Students taking the course will learn techniques of observation and interviewing and will practice applying these techniques in the real world in Tokyo. The course will explore the benefits and

limitations of qualitative study of culture, the gathering of data, and how to analyse the results of interviews and observations. By the end of the course, students will have discovered some interesting aspects of culture in Japan and developed some skills that are beneficial across many study disciplines. Assessment: Attendance and participation in exercises, including some small observation and interviewing assignments. A final presentation to the rest of the class